

年頭挨拶



新年明けましておめでとうございます。

昨年は新型コロナウイルスに相変わらず大きな影響を受け続けた年となりました。また経済面でも海外との物流の滞り、

様々な原材料の価格高騰、さらに半導体や木材など広い分野での原料不足からくる製品供給の遅れなどが見受けられました。

そういったニュース等で見聞きしていることが、私たち自身の生活にも迫っていることを肌で感じたこともあったのではないのでしょうか。

そのような中、皆さんの努力もあってジャパンスリーブはお得意先から堅調にお仕事をいただけています。特に昨年の後半は忙しい思いをした方も多いと思いますが、第4四半期を迎えるいま、通期での目標達成も十分に狙える状況です。

ただしそれに甘んじることなく、この状況だからこそ、今ある仕事はもちろん大切にしながらも将来へ向けての手も一層打っていきたくと思っています。

ウィズコロナの時代、私たちの周りではそれ以前と同じようにいかないことや、何かと不便なことがあるかと思っています。外食や旅行をはじめ今まで当たり前だったものが必ずしも思い通りといけなくなり、日頃の楽しみが薄くなったり減ったりという中、音楽や映画などは手軽に楽しむことができます。

JS環境委員会短信

2022年2月1日(火)島田PC・3日(木)本社
環境マネジメントシステムの審査が行われます。

島田PC 環境委員会

島田PCサイト責任者：青島雄之

環境委員：曾根秀樹、鈴木淳、増田真也、西村吉昭



私たちはものづくりの会社です。中でもそういったエンタテインメントに大きく関わっていることを、この機会に改めて思い出してください。

デジタル化の影響が大きいエンタメですが、ただ音楽や映像を聴く・観るだけでなく、パッケージを手にする・所有するという、この分野ならではの楽しみがあると思います。

製品を手にとった人が楽しく、豊かな気持ちになるための仕事を私たちは手掛けています。

多くの人に喜んでいただけるもの、ぜひ欲しいと思えるものを提供する、ひいては世の中から必要とされる企業であり続けられるよう、今後も一層努力を重ねていく必要があります。それぞれの部門内、そして部門間、また東京と島田のコミュニケーションは密にして、また各々のレベルアップを通じて、ジャパンスリーブを一層力のある組織としていきましょう。

この新しい年が私たち皆にとっていっそう佳き年となるように祈念して、私からの年頭の挨拶とさせていただきます。

今年もよろしくお願い申し上げます。

代表取締役社長 金井謙介

環境保全協定

12月22日(水)島田市の環境保全協定調印式が行われ、島田市染谷市長と金井社長が協定書を締結しました。行政と市内事業所が力を合わせ、市民の健康を保護し、生活環境を保全することを目的としています。

調印式には昨年、島田工場が完成したサンコー精産株式会社様(牧之原市)も出席されました。



左からサンコー精産社長、染谷市長、金井社長